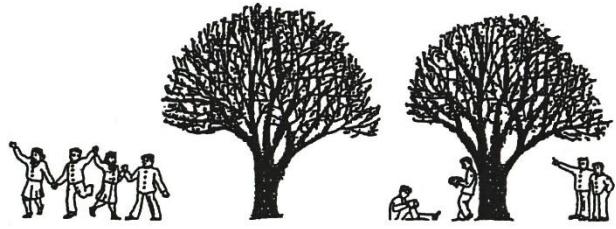


2本のケヤキ

第160号 (令和7年6月23日)



現場実習激励会

5月30日(金)、6月に現場実習を控える3年生を激励するため、第1回現場実習激励会が行われました。1・2年生と教職員が見守る中、1年生の玉岡カオリさんから心温まる激励の言葉に続き、3年生は一人一人実習先と決意表明を述べました。進路決定に向けた強い意志を感じられました。私からは、実習に臨む3年生へ次の4点を心掛けるように話しました。

①「挨拶」：校訓にある大切な基本です。誰に対しても明るく元気に挨拶しましょう。

②「素直」：実習先の担当者からのアドバイスや指示は素直に聞き入れましょう。

③「健康」：心身ともに健康を保ち、実習期間中、休まず頑張りましょう。

④「我慢」：つらいことがあっても、投げ出さずに最後までやり遂げましょう。



現場実習・校内実習・学年イーク

6月は各学年で進路に関する学習をする期間でした。3年生は現場実習、2年生は校内実習、1年生は学年イークに取り組みました。これらは、生徒が卒業後の自立や就労に必要な力を身に付ける大切な機会です。

●現場実習(3年生)

生徒が実際に企業で働く体験を通して、仕事の厳しさや喜び、ビジネスマナー、自己の適性を学び、将来の進路を具体的に考えます。学校は生徒の成長を確認し、今後の指導や就労支援に役立てます。



●校内実習(2年生)

校内実習は、学校内で企業作業に取り組み、働く基礎や技能を身に付ける場です。生徒はビジネスマナーや協調性を養い、現場実習へ準備を進めます。学校は個々の課題を把握し、効果的な指導と進路選択に繋げます。



●学年イーク(1年生)

学年イークは、生徒が将来の進路や働き方を集中的に考え、自己決定能力と社会性を育むキャリア教育期間です。1年生は働く基礎を学んだり、実際に職場を見学したりしました。



各学年で進路に関する学習を段階的に進め、最終的に、各生徒にとって適切な進路決定ができる事をねらいとしています。

●高校通級について

太特は、「高校通級」の拠点校となっています。高校通級とは、高等学校等において実施する「通級による指導」の略称です。高校通級を希望する生徒は、在籍する高等学校等において大半の授業を受けつつ、障害による学習上、生活上の困難さを主体的に改善・克服するため、「自立活動」の指導を受けます。本校を拠点とする通級指導教室の2名の教員は、県東部・伊勢崎地域の高校等を巡回し、生徒一人に対し月1~2時間程度の授業を行っています。

